

聖マリア病院・聖マリアヘルスケアセンターを過去にご退院された方、または現在入院中の皆さまへ

聖マリア病院・聖マリアヘルスケアセンターでは、皆さまの診療情報を基にして、下記の研究を実施しております。

研究内容につきましては、社会医療法人雪の聖母会研究倫理審査委員会にて承認されたものです。本研究の対象者もしくは代諾者に該当される可能性のある方で、研究について詳細にお知りになりたい場合や診療情報等を研究目的に利用してほしくない場合は、下記の問い合わせ先まで、ご連絡をお願いいたします。なお、解析用のデータが確定（データ固定）している場合は、研究データから情報を削除できませんので、ご了承ください。

① 研究課題名	PCAPS による構造化臨床知識（リハビリ領域）の開発と活用		
② 実施予定期間	承認後～2027 年 3 月 31 日		
③ 対象患者	聖マリア病院および聖マリアヘルスケアセンター		
④ 対象期間	2015 年 1 月 1 日～ 2027 年 3 月 31 日		
⑤ 研究機関の名称	社会医療法人雪の聖母会 聖マリア病院 社会医療法人雪の聖母会 聖マリアヘルスケアセンター		
⑥ 対象診療科	リハビリテーション科		
⑦ 研究責任者	氏名	井手 睦	所属 聖マリアヘルスケアセンター
⑧ 使用する資料等	診療情報より下記事項を調査します。 ・患者基本情報（年齢・性別・利き腕、麻痺側） ・原因疾患情報（疾患名、病型、病巣、再発の場合既往の病巣） ・重症度、既往歴、リハビリテーション実施にあたっての阻害因子、転帰情報） ・リハビリテーション実施情報（リハビリ担当者ID、経験年数、リハビリ開始日・終了日） ・CPCにおけるユニット移行日 ・USにおける評価の実施情報および結果（NIHSS、上肢のBr.stage 上肢下肢体幹のMMT、FIM、およびコンテンツ固有の詳細な観察・評価項目） ・USにおける介入の実施情報（嚥下間接訓練、嚥下直接訓練、関節可動域訓練、ADL訓練）		
⑨ 研究の概要	リハビリテーションの治療過程は施設・担当者によるばらつきが大きく、標準化されていません。本研究は脳血管疾患後のリハビリテーションについて設計されたPCAPS（患者状態適応型パス）に基づくパスの原案について、実際の治療における診療記録を用いて、妥当性・有効性の評価を行なうものです。 ※この研究は、東京大学大学院工学系研究科化学システム工学教室 が主たる研究者を務める多施設共同研究であり、東京大学大学院倫理委員会の承認も受けています。		

⑩ 研究計画書等の 閲覧等	研究計画書及び研究の方法に関する資料を他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で入手又は閲覧できます。詳細な方法に関しては下記の問い合わせ先にご連絡ください。
⑪ 結果の公表	学会や論文等で発表いたします
⑫ 個人情報の保護	個人情報を保護するために責任者を設定します。研究する際、個人の特定につながる情報は、当院で特有の番号に置き換えて（このことを「匿名化」と言います）管理します。学会等で発表する場合も、個人を特定できる情報は使用しません。
⑬ 知的財産権	PCAPS（患者適応型パス）の知的財産権は東京大学大学院化学システム工学専攻寄付講座にあります。
⑭ 研究の資金源	文部科研費（基盤B 代表者 慶應義塾大学 加藤省吾）、東京大学大学院化学システム工学専攻寄付講座寄付金で実施いたします。
⑮ 利益相反	研究結果に影響を与えるような利害関係はありません。
⑯ データの2次利用	本研究で得られたデータ等の2次利用により新たな研究を行う場合は、改めて研究計画書を作成し、再度研究倫理審査委員会の審査を受けます。
⑰ 問い合わせ先・ 相談窓口	聖マリアヘルスケアセンター 病院長 井手 睦
	電話 0942-35-3322